# 令和5年度 泉佐野市の財政状況



**問合先** 行財政管理課

決算の特徴としては、コロナ禍が収束しつつある一方で、ふるさと応援寄附金の制度改正 により増収が見込めないなか、中期財政運営方針に基づく事務事業の継続した見直しなどに よる歳出削減のほか、国の物価高対策に関連する財政支援の積極的な活用および各目的基 金の活用、ふるさと応援寄附の推進などの歳入確保に努めたことで、前年度に引き続き2億 5,900万円の黒字となりました。

歳入総額

歳出総額

翌年度繰越財源

実質収支額

832億9.322万円 - 829億8.288万円 -

5.176万円

2億5.858万円

# 令和5年度 普通会計の決算

(単位:万円)

歳入総額 832億9.322

①市民のみなさんに納めていし ただいた税金

②市の事業に対する国や府か らの補助金など

|③他会計から繰り入れたお金

④自動車重量税などの国税 や府税から分配されたお金

⑤所得税などの国税から財政 力に応じて交付されたお金

⑥長期の借入金

⑦財産収入・寄附金・分担 金·負担金·繰越金·使用料· 手数料・諸収入

普通会計とは…地方財政統 計上、統一的に用いられる 会計で、各地方公共団体間 の財政比較が可能となるよ うにしてある会計です。

①市税 200億6,014 (24.1%)

②国・府支出金 147億8,437 (17.7%)

> 3繰入金 163億5,876 (19.6%)

④地方譲与税など 35億1,197(4.3%)

⑤地方交付税 37億7,728 (4.5%)

6市債 28億9,560 (3.5%)

> ⑦その他 219億 510 (26.3%)

0積立金 182億9,607 (22.1%)

2扶助費 151億2,529 (18.2%)

**③**補助費等 142億9,318 (17.2%)

4物件費 130億4,323 (15.7%)

6公債費 51億 516 (6.2%)

6人件費 65億5,916 (7.9%)

投資的経費・維持補修費 49億6,122 (6.0%)

8繰出金 42億3,512 (5.1%)

9その他 13億6,445 (1.6%)

●民生費

歳出総額 829億8.288

● 1 福祉などの目的ごとの基金 への積立金

2生活保護にかかる費用や、 高齢者、障害者、子どもに対 する医療費などの社会保障費

3清掃施設組合や泉州南消防 組合への負担金、各種団体へ の補助金などの費用

水費、施設の管理委託料など の費用

⑤市が大きな事業をするとき に利用する借金(市債)の返 済のための費用

6職員の給与や退職金、議員 報酬など

7施設の建設などその効果が将 来にわたって市民サービスの向 上につながる費用。道路や学校 施設などの維持に使われる費用

❸国民健康保険事業や介護 保険事業などの特別会計に 対して市が負担すべき費用

⑨貸付金・投資及び出資金

# 市民1人あたりでは…

#### 入 840,666円

- ●市税 202,464円
- ●国庫支出金、府支出金 149.216円
- 29,225円 ●市債
- その他 (繰入金など)
  - 459,761円

固定資産税 105,556円 64.751円 市民税 15,689円 都市計画税 市たばこ税 9,536円 法定外普通税 3,736円 軽自動車税 2,967円 入湯税 229円

#### 歳 出 837,534円

- ●総務費 323,263円 ●商工費
- 30.515円
- 232.496円 ●消防費 15.584円 2.827円
- ●土木費 61,589円 ●議会費 ●教育費
  - 56,955円 ●その他(労働費など)
- ●衛生費 56,845円 ●公債費 51.531円
- 5,929円

### 教育・子育て支援

- ■日根野小学校、長南小学校、日新小学校、佐野中学校の図書室整備
- ■長南中学校グラウンドの夜間照明を整備
- ■夜間中学校整備
- ■認定こども園・保育所などの第2子保育料の無償化実施
- ■小・中学校給食の無償化の継続実施
- ■中学3年生に対する就学就職等支援金給付



-ラー導入







■上田ヶ丘団地住宅(1~17棟)建替

トイレトレー

- ■マンホールトイレ設置
- ■トイレトレーラー導入



## まちの活性化・賑わいの創出

- ■マンデー末広公園、大井関公園のリニューアル
- ■泉佐野土丸線の整備
- ■「さのぽ」ポイント還元キャンペーンの実施
- ■「eスポーツ」MICEコンテンツの実証
- ■2025大阪・関西万博の機運醸成、PR事業の実施

#### 各会計決算 (歳出)

(単位:万円) 会計名 令和5年度 令和4年度 比較 -般会計 819億9.621 757億3.571 62億6.050 107億9,884 107億5,343 4,541 国民健康保険事業特別会計 公共用地先行取得事業特別会計 13億9.660 19億9.760 △6億 100 介護保険事業特別会計 97億5,034 96億5,746 9,288 後期高齢者医療事業特別会計 14億7,242 14億1,488 5,754 病院事業債管理特別会計 20億7,595 18億9,242 1億8,353 りんくう公園事業特別会計 2億2,192 4億9.615 △2億7,423 水道事業会計(\*) 42億7,490 44億6,192 △1億8,702 下水道事業会計(\*) 81億8.756 82億 569 △1,813 合 計 1,201億7,474 1,146億1,526 55億5,948

(\*) …水道事業会計、下水道事業会計の歳出額は、収益的支出と資本的支出を 合算したものです。



# 令和5年度末残高

●市債(長期借入金)

…567億円

市民1人あたり 572,767円

●積立金…185億円

市民1人あたり 186,813円

# 健全化判断比率の状況

実質赤字比率と連結実質赤字比率は、黒字により数値はバー表記、実質公債費比率は、7.6%と前年度から0.9ポイントの改善、将来負担比率は8.7%と前年度より19.2ポイント改善し、いずれも早期健全化の基準未満となっています。

(単位:%)

			(   1
健全化判断比率	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	早期健全化 基準
実質赤字比率	_	_	12.12
連結実質赤字比率	_	_	17.12
実質公債費比率	8.5	7.6	25.0
将来負担比率	27.9	8.7	350.0

|①実質赤字比率…標準財政規模(\*)に対する、 |一般会計等に生じている赤字の大きさの割合 |②連結実質赤字比率…標準財政規模に対する、 |水道や下水道など公営企業を含む全会計に生 |じている赤字の大きさの割合

③実質公債費比率…標準財政規模を基本とする額に対する、借入金返済額の大きさの割合 ④将来負担比率…標準財政規模を基本とする額に対する、借入金など現在抱えている負債の大きさの割合

(\*) 標準財政規模…市の経常的な一般財源の規模を示すもので、標準的な税収入額に普通交付税などを加算した額(令和5年度決算:約245億円)

# 今後の取組項目

### 【支出の抑制、効率的な行政運営に関する事項】

- ●事務事業の継続した見直し
- ●広域連携の推進
- ●民間委託の拡充
- ●給与水準の適正化などによる総人件費の抑制

# 【収入の確保に関する事項】

- ●滞納処分の強化および徴収率の向上
- ●企業誘致などによる税収増加
- ふるさと応援寄附金制度、ネーミングライツなどの更なる税外収入の確保

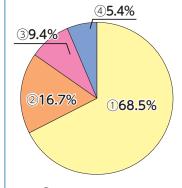
### 中期財政運営方針期間終了時の目標

- ●実質公債費比率は10.0%以下
- ●地方債残高は標準財政規模の2.5倍以下
- ●将来負担比率は130%以下

# 国民健康保険事業特別会計

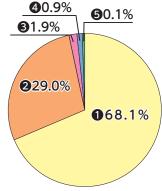
問合先 国保年金課

国民健康保険事業特別会計は、歳入110億3,581万円に対して、歳出107億9,884万円で2億3,697万円の黒字となりました。なお、黒字決算により、一般会計からの財政安定化支援事業(予算額1億8,914万円)の繰入を行わなかったため、単年度では3億2,204万円の赤字となっています。



# 歳入 110億3,581万円

科目	金額(万円)	
①府支出金	75億6,175	
②保険料	18億4,526	
③繰入金	10億4,179	
④その他	5億8,701	



#### 歳出 107億9.884万円

科目	金額(万円)
●保険給付費	73億5,182
②国民健康保険 事業費納付金	31億3,678
<b>3</b> 総務費	2億 312
4保健事業費	9,449
<b>⑤</b> その他	1,263

#### 【府内平均を大幅に上回る医療費】

令和4年度の本市における全被保険者1人あたりの医療費は44万8,782円と府内43市町村中10番目に多く、府内平均の41万8,200円を大きく上回っています。これは、他の市町村に比べ、レセプト1件あたりの診療日数および診療費が多くなっていることが影響しています。

以前から、ジェネリック医薬品の利用促進や 柔道整復の適正受診の啓発など医療費適正化の 取組を進めていますが、1人あたり医療費は増加し続けており、府内でも引き続き高いレベル にあります。

#### 【病気は未然に防ぎましょう】

本市では市民の健康づくりを推進するため、 生活習慣病予防に着目した特定健診・特定保健 指導の推進を図っています。これは内臓脂肪型 肥満や糖尿病、高血圧、高脂血症などの危険因 子が重なるほど、心疾患や脳血管疾患を発症す る危険が増大することから、生活習慣病予防に 取り組むこととなったものです。

その他、被保険者のみなさんには、人間ドック・脳ドックや泉佐野市役所健診センターで実施している各種検診を利用して、病気の予防、早期発見、早期治療に努めていただき、さらなる健康寿命の延伸や医療費の適正化にご協力をお願いします。

# 上下水道局会計決算

水道事業会計は、事業収益27億6,101万円(前年度比5.9%増) に対し、事業費用25億1.695万円(前年度比0.2%減)で、2億4.406 万円の純利益が生じました。

### 【令和5年度の主な事業】

南中樫井地内に配水管を布設しました。また、葵町日根野線およ び末広葵橋線などの老朽管の更新工事を行い、安全で良質な水道水 の安定供給を図るとともに、ライフライン機能の強化に努めました。

#### 令和5年度経営状況

#### (単位:万円)

収	益	費	用
営業	24億4,120	営業	24億2,124
営業外	3億1,583	営業外	9,227
特別利益	398	特別損失	344
_	_	純利益	2億4,406
숨計	27億6,101	合計	27億6,101

## 水をたいせつに

- ●導·送·配水管総延長 477.46km (令和6年3月31日現在)
- ●総配水量 1,288.3万㎡ (年間)
- ●企業団水 1,069.1万㎡ (年間) +自己水219.2万㎡ (年間)
- 1日平均配水量 3万5,199㎡
- ●1人あたり1日平均配水量 355 ℓ
- ■給水装置工事や漏水修理の申込は市指定工事業者へ (https://www.water.izumisano.osaka.jp/)

問合先 上下水道局(水道事業) **2**467-2800 Fax467-1801

願いします。
朝一番や長時間留守にした場合は、バケツ1朝一番や長時間留守にした場合は、バケツ1度の低下や赤水が発生する場合があります。 あります。 Jから微量の鉛が溶け出したり、この場合、長時間水道を使用し 消毒用塩素 <sup>塩</sup>素 水 濃 道

設置した建物では、鉛管をを禁止してきましたが、4市では、昭和4年4月4 道 鉛管を使用していることが、それ以前に給水装置を 戸 1 日から、 からの 鉛管の使用

下水道事業会計は、経営基盤の強化や経営の計画性・透明性の 向上を図ることを目的に、令和2年4月に地方公営企業法の全部を 適用し、「公営企業会計」に移行しました。

下水道事業会計は、事業収益42億5,463万円に対し、事業費用 36億6,483万円で、5億8,980万円の純利益が生じました。

#### 【令和5年度の主な事業】

管渠整備事業として、市内18工区で下水道管渠布設工事を実施 し、汚水整備を推進するとともに、雨水ポンプ場の機能保全を図 るため、中央ポンプ場において耐震化にも考慮した年次的な長寿 命化対策工事を実施しました。

### 令和5年度経営状況

### (単位:万円)

収	益	費	用
営業	27億2,086	営業	33億6,140
営業外	14億8,196	営業外	3億 264
特別利益	5,181	特別損失	79
_	_	純利益	5億8,980
合計	42億5,463	合計	42億5,463

#### 業務量

- ●下水道普及率 45.2% (令和6年3月31日現在)
- ●水洗化率 89.2% (令和6年3月31日現在)
- ●有収水量 7,691,590㎡
- ●下水道管布設総延長 290.9km(令和6年3月31日現在)

# IST COLUMN TO THE PARTY OF THE

上下水道局(下水道事業) 問合先 **☎**450-2222 Fax450-2223

します。 ち一人ひとりの理解や協力が欠かせません。しかし、その効果を発揮するためには、私 下水道は、 自然を守っています。 快適で衛生的な生活環境を守るため、 普及率の向上に努めています。 私たちの暮らしから排出される汚 (下水道 か

らの

お

61

汚水の

下水道への早期接続をお願い使用できるようになった区域 下だ